

10周年を迎えたCO・OP共済 地域ささえあい助成 2021年度 団体交流会を開催しました

共催：日本生活協同組合連合会

コープ共済連（日本コープ共済生活協同組合連合会、代表理事理事長：和田 寿昭）は、2021年10月28日に「地域ささえあい助成 団体交流会」を開催しました。「コロナ禍での活動継続のヒントを探して」をテーマにオンライン開催し、27団体・51名（うち事務局13名、審査委員6名）が参加しました。今年度、「地域ささえあい助成」は10周年を迎えます。この節目として、2つの基調報告・2生協からの活動報告に加え、事務局より、これまでの活動の振り返り報告を行いました。



【開催概要】

1. 事務局報告		
「10年間を振り返り 新たな制度へ」	コープ共済連 組合員参加推進部 部長	田中 美樹
2. 基調報告		
① 「オンライン、はじめの一步 🗣️」	UD ワーク (茨城県つくば市 市民団体) 代表	前田 亮一 氏
② 「つながり・つなげる～コロナ禍における地域福祉活動の実践」	阪南市社会福祉協議会（大阪府） 地域福祉グループ 主任	坂上 尚大 氏
3. 活動生協による報告		
① 「コロナ禍でのサロン開催について」 (活動名：飛騨市北部(宮川町、河合町)で、地域サロンの広がりをつくる)	コープぎふ 飛騨支所	松原 滋 氏
② 「西日本豪雨から3年 地域の団体と一緒に」 (活動名：平成30年西日本豪雨被災地支援活動～社協との連携を軸とした他団体との協同～)	おかやまコープ エリア理事	村上 利知巳 氏
4. 分散会交流+全体交流		
少人数のグループで自団体での取り組み実態や悩み等の共有、活動の展望などを話しあった後、グループで出た意見等を全体で共有しました。		

■地域ささえあい助成概要

本助成は、地域共生社会の実現に向け、生協と生協以外の団体が協働しておこなう実践的な活動に対して助成するものです。2012年度から開始し、2021年度に10年目を迎えました。10年間の実践を通じて得た知見等を元に、2022年度以降は制度を改定し、実施することといたしました。

今後も、生協と地域で活動・活躍される団体が、地域にくらす人々の想いに共感し、地域の困りごとや課題を共有し、それぞれの役割を發揮しながら協働して活動するためのきっかけや後押しとなる制度を目指します。

【2012年から2020年までの助成金額】

年度	助成件数	助成金額
2012	34	2,014万9,000円
2013	38	2,141万6,774円
2014	40	2,058万2,597円
2015	35	1,871万8,336円
2016	38	2,285万1,428円
2017	42	2,492万9,950円
2018	44	2,120万3,306円
2019	44	2,461万2,153円
2020	37	2,176万1,100円
合計	352	1億9,622万4,644円

地域ささえあい助成

—生協と生協以外の団体の協働を応援します—

【2020年度支援活動事例】

フードバンクや子ども食堂の取り組み、子育てサロンや多世代交流など地域の居場所づくり、乳がんの啓発活動、ひとり親家庭の支援、病児家庭の支援など。
※いずれも生協と協働した活動。

【2020年度支援活動写真】



団体名：公益社団法人フードバンクかながわ
活動名：「もったいない」を「分かち合い」～
「ありがとう」へ



団体名：病気の子どもと家族を孤立させない
支援団体 NPO 法人未来 ISSEY
活動名：子ども未来フェスの開催&病児の家族
の交流会&グリーンケア会の開催

■地域ささえあい助成の詳細は下記をご覧ください。

<https://coopkyosai.coop/csr/socialwelfare/>

お問い合わせ先

日本コープ共済生活協同組合連合会 渉外・広報部（担当：西本・星合）
TEL：03-6836-1320／FAX：03-6836-1321（平日10時～17時 土日除く）
e-mail：kyosaiinfo@coopkyosai.coop